

医療情報サービスとしての病院の歴史展示について

稲松孝思¹⁾，宮本孝一²⁾

1),2) 地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター

当院は明治5年の『養育院』に端を発する144年の歴史を有する医療・福祉施設であり，養育院附属病院，老人医療センター，健康長寿医療センターと名前を変えながら，それぞれの時代の求めに応じて機能してきた。その点を利用者，従業員向けに公報する目的で，当院の新築（2013年6月）に際し，病院のエントランス2階に『養育院・渋沢記念コーナー』を設け，その中に歴史展示コーナーを設けた。その概要を紹介するとともに，運営上の問題点について述べてみたい。

■構成：

① 歴史パネル13枚

明治5年から今日に至る養育院・附属病院・老人医療センター・健康長寿医療センターの歴史を13枚のパネルにまとめた

② 展示ケース：大久保一翁，渋沢栄一肖像画・写真，揮毫，関連写真，出版物など

③ 歴史に関する講演スライドやビデオ映像の放映

④ 明治10年ころの東京の古地図

⑤ 旧病院模型，地図

⑥ 歴史パンフレット配布

⑦ 櫻園通信（職員，ボランティア作成の配布資料）

⑧ 山口晃画「養育院幾星霜」…1階ロビー。

⑨ 渋沢栄一銅像（板橋区有形文化財）・養育院本院碑…養育院記念中央広場。

なお，ボランティアによる説明，資料配布，その一部は病院のホームページに掲載。

<http://www.tmghig.jp/hospital/about/pdf/guide.pdf>

■問題点など：元来が救貧施設であり，古写真やお墓の写真では，患者さんの健康志向にそぐわない。如何に前向きの明るい展示にするか。職員の前向きの福祉・医療に対する志を表現することに留意。また，患者さんや介護者が見ることも多いため，「癒し」の雰囲気演出に留意した。併設の読書コーナーの貸し出し，資料の説明などに日替わりで約30人のボランティアに参加願っている。ボランティアの交流会，説明資料の用意，特別展示，季節ごとの飾りに留意している。

